

平成28年度

保健福祉学部附属診療センター

年報

目次

I . 年度目標と実績

II . 診療実績

III . 教育実績

IV . 研究業績

V . 従事者名簿

平成28年度目標と実績のまとめ

目標

- ①医療安全対策の継続実施
 - ★医療安全のための定期点検・安全対策の周知
- ②今後の役割と施設機能の方向性の検討
 - ★診療体制の検討
 - ★備品の計画的な更新
 - ★附属診療センターの存在意義を学内外に発信

実績

- ①医療機関としての安全管理体制整備
 - ◆附属診療センターヒヤリ・ハットの減少
 - ◆診療体制の整備(看護師・非常勤職員)
 - ◆安全対策のための環境整備(転倒予防対策)
 - ◆医療安全研修会の実施
 - (8月29日 国立病院機構における医療安全について-転倒事象を中心に-松尾剛先生
 - 12月9日 障害者差別解消法施行と医療機関に求められる取組み
 - 同法制定の経緯を踏まえて— 金子努先生)
- ②教育および研究のための体制の充実
 - ◆実績 初診患者 187名 再診患者 4,446名 リハビリテーション 2,665件
 - 学内実習 109名 学内者見学 323名
 - ◆年報の公開
- ③今後の役割と施設機能の方向性の検討
 - ◆診療体制の整備(看護師・非常勤職員)
 - ◆備品の計画的な更新
 - ◆附属診療センターの広報
 - 教員免許状講習 シティカレッジ 公開講座等
 - ◆オープンキャンパスでの情報発信(見学者約555名)
 - ◆学外者の研修の受け入れ
 - 学外者見学 93名(うち専門職種研修者 12名)

来年度計画

- ①医療安全対策の継続実施
 - ★医療安全のための定期点検・安全対策の周知
- ②今後の役割と施設機能の方向性の検討
 - ★安定的な体制維持にむけての診療機能の検討
 - ★備品の計画的な更新
 - ★備品の計画的な更新
 - ★附属診療センターの存在意義を学内外に発信

H28年度統計

①地域別

地域	初診	再診	実人数	のべ人数
三原市	95	386	482	2677
尾道市	28	134	162	795
広島市	8	21	28	144
福山市	33	123	156	590
三次市	0	1	1	1
呉市	3	1	4	13
世羅郡	3	13	16	84
豊田郡	0	2	2	4
沼隈郡	0	1	1	1
竹原市	2	17	19	158
廿日市市	2	0	2	6
東広島市	0	7	7	20
府中市	4	14	18	53
安芸郡	1	3	4	26
神石郡	0	4	4	7
庄原市	0	2	2	6
岡山	4	2	6	29
島根県	1	0	1	6
大阪	1	1	2	4
山口	1	2	3	8
九州	1	0	1	1
合計	187	734	921	4633

②年齢別

年齢	初診	再診	実人数
3歳未満	1	3	4
3歳	5	1	6
4歳	15	8	23
5歳	18	16	34
6歳	34	41	75
小1	8	46	54
小2	13	50	63
小3	10	47	57
小4	6	47	53
小5	4	47	51
小6	4	40	44
中1	6	51	57
中2	4	39	43
中3	3	31	34
高校生	3	62	65
19歳～20歳	2	37	39
21歳～30歳	11	40	51
31歳～40歳	8	8	16
41歳～50歳	9	21	30
51歳～60歳	7	16	23
60歳以上	16	83	99
合計	187	734	921

③初診患者の主診断名

診断名	人数
自閉症スペクトラム	61
知的障害	27
注意欠陥多動障害	37
その他の小児神経疾患	12
発声・嚥下・構音障害	22
難聴	5
その他の耳鼻科疾患	15
高次脳機能障害・認知症・脳血管疾患	8
発作性神経疾患	3
脊髄・神経・筋疾患	2
精神科疾患	1
整形外科疾患	1
その他	7

Ⅲ. 教育実績

【授業・見学】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
発達障害評価学	3	31	4月	1	3年生を対象に、診療所のケースが実際に料理を行っている場面を観察し、遂行技能評価を実際に行い、理解を深めた。
臨床実習Ⅱ	3	4	4～5月	4	運動障害性構音障害・摂食嚥下障害、失語症の各症例のリハビリテーションを当事者の理解を得た上で観察室から見学し、学内臨床実習の準備とした。
認知系障害学概論Ⅰ	2	33	4～7月	4	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
認知系障害学概論Ⅱ	3	25	4～7月	1	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
臨床実習Ⅲ	4	7	5月	2	運動障害性構音障害・摂食嚥下障害、失語症の各症例のリハビリテーションを当事者の理解を得た上で観察室から見学し、6月からの学外臨床実習の準備の一環とした。
発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ	3	28	5, 11月	2	運動障害性構音障害・摂食嚥下障害症例の嚥下内視鏡・嚥下造影検査の録画を基に、嚥下障害の病態解析と訓練計画立案の演習を行った。
耳鼻咽喉科学	2	30	6月	1	耳鼻咽喉科診療に必須の、電子スコープによる耳、鼻、咽喉頭の観察を実際に行った。
日常生活援助論	3	30	6月	3	診療センターのクライアントに授業に来てもらい、日常生活についてインタビューし、その情報を授業で活動した。また、作業している所をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
社会福祉実習指導Ⅲ	3	6	7月	1	難病に対するソーシャルワークを学ぶ過程で、神経難病患者のお話を聞き、生活上の困難や社会福祉に望むこと等を学習した。社会福祉実習の事前学習の中で、患者理解に非常に役立った。
社会福祉実習指導Ⅲ	3	3	7～3月	3	ソーシャルワーク面接に同席して、患者、家族が抱える思いや社会生活上の困難、面接の進め方について学習した。実際の面接を間近で見ることで、ソーシャルワーカーの役割についての理解が深まった。
精神科作業療法見学	3	1	8月	1	作業療法学科3年次生で精神科作業療法に興味がある学生が、臨床活動を見学した。
失語症特論	4	3	9～11月	2	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
チーム医療福祉演習	4	184	10月	1	受診者の方に当事者として演習に参加頂き、医療福祉サービスを利用した経験や学生への期待を話して頂いた後に質疑応答をした。

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
遂行分析学	2	31	12月	4	遂行分析を行う際の教材として、診療センターのクライアントに洗濯物をたたむ、掃除機をかけるなどの日常生活の作業をしている所をビデオ撮影し、授業で活用した。
理学療法概論Ⅱ	1	31	12月	1	1年次生を対象とし、理学療法士だけでなく言語聴覚士、診療放射線技師といった多職種の業務や実際の治療について見学・説明を行い、理解を深めた。
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅱ	3	28	1月	1	摂食嚥下障害症例の嚥下内視鏡・嚥下造影検査の録画を基に、嚥下障害の病態解析と訓練計画立案の演習を行った。
卒業研究	3	3	2月	3	小児科外来に陪席し、子どもの診察手順や発達支援の方法を体験し、研究との関連性を確認した。
クリニック診療（作業療法）	3	1	2月	2	見学を希望した3年生に、発達領域の作業療法の見学・ディスカッションを行い、理解を深めた。
社会福祉実習指導Ⅱ	2	6	2～3月	5	神経内科の診察に同席して、患者の症状やニーズ、医療の対応について学習した。医師の丁寧な問診や検査を間近で学び、その役割について理解を深めた。

【実習】

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
臨床実習Ⅲ	4	28	4～8月	10	患者さんの了解を得て、耳鼻科医師による診察場面を見学した。各学生が2-3名のグループになり1回の見学を行った。
臨床実習Ⅲ	4	28	4～9月	28	患者さんの了解を得て、小児科医師による診察場面を見学した。各学生が1回の見学を行った。
臨床実習Ⅲ	4	28	4～12月	13	患者さんの了解を得て、神経内科医師による診察場面を見学した。各学生が2-3名のグループになり1回の見学を行った。
臨床実習Ⅱ	3	24	4～2月	104	言語聴覚障害をもつ患者の協力を得て、学生1人につき年間8回の評価、計画立案、言語療法実施、報告書作成を行った。
臨床実習Ⅰ	2	32	6～12月	32	言語聴覚障害を持つ患者の協力を得て、学生に言語療法場面の見学を行わせた。学生2～3名が1組になり、1組当たり3回異なる患者を見学した。
発達障害治療学実習	3	34	9～1月	各グループ3回	発達障害をもつ患者7名の協力を得て、学生に作業療法場面の見学、補助を行わせた。学生2～3名が患者1名を担当し、1組当たり年間10回の実習を行い、作業療法のプロセスを学習した。
基礎臨床実習Ⅱ 補充実習	3	1	3月	3	基礎臨床実習Ⅱの補充実習を1名の学生に対して行った。学生は2症例担当し、カルテからの情報収集、評価を行い理学療法プロセスを立案した。1回に、1時間の実習を3日間実施した。

【卒業研究】

卒業論文タイトル
発達外来受診の中学生のQOLの検討—KINDL®の中学生版QOL尺度を用いて—
広汎性発達障害に対する作業療法研究の現状と課題
ケプストラム分析を中心とした音声障害の評価
耳内嚙下音による反復唾液嚙下検査の信頼性と反復唾液嚙下の日差変動について
失語症に対する階層性コミュニケーションアプリの有効性の検討

IV. 研究業績

【論文】

論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
実習における看護学生のコミュニケーションスキル自己評価の変化	看護・保健科学研究誌	土路生明美, 岡田麻里, 岡光京子, 井上誠, 狩谷明美, 船橋眞子, 中垣和子, 三宅由希子	平成27年12月
リラックスさせる音楽と不安を感じさせる音楽の自律神経機能に及ぼす影響についての検討.	診療と新薬	庫井亮輔, 原田俊英, 伊藤祥司, 青井聡美, 池田ひろみ, 飯田忠行, 宮崎洋行, 近村千穂, 石崎文子	平成28年1月
各論実習を修了した4年次生の多重課題演習における学び	県立広島大学総合教育センター紀要	岡田麻里, 今井多樹子, 近藤美也子, 井上誠, 木村幸生, 宮本奈美子, 永井庸央, 土路生明美, 船橋眞子, 松森直美	平成28年2月
動詞と考えられる無意味性再帰性発話を呈した一例.	神経心理学, 32(1) 65-73.	小松慎太郎, 大平陽子, 渡辺眞澄, 今村徹.	平成28年3月
加齢またはアルツハイマー病が語彙意味機能におよぼす影響: feature listing課題による検証	コミュニケーション障害学	津田哲也, 中村光, 藤本憲正	平成28年4月
Effect of high-resolution audio music box sound on EEG.	International Medical Journal	Ito S, Harada T, Miyaguchi M, Ishizaki F, Nitta Y, Chikamura C, Kodama Y, Niyada K, Yamamoto R, Nitta Y, Shiromoto O, Imaizumi S, Nitta K	平成28年4月
Intranasal topical estrogen in the management of epistaxis in hereditary hemorrhagic telangiectasia	Acta Oto-Laryngologica	Kazuhiko Minami, Tomoyuki Haji	平成28年5月
Association of Changes in Neck Circumference with Cardiometabolic Risk in Postmenopausal Healthy Women	Journal Atherosclerosis and Thrombosis	Aoi S, Miyake T, Iida T, Ikeda H, Ishizaki F, Chikamura C, Tamura N, Nitta Y, Harada T, Miyaguchi H	平成28年6月
Development of Japanese version of Smartphone Dependence Scale.	Open Journal of Preventive Medicine	Ezoe S, Iida T, Inoue K, Toda M.	平成28年7月

論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
実習指導者のモチベーションを高める!多重課題を中心とした統合実習の効果と課題 チームナーシングを実践するための思考を育てる多重課題演習とシャドウイング実習	看護人材育成	岡田麻里, 今井多樹子, 井上 誠, 近藤美也子, 土路生明美, 船橋 眞子, 永井 庸央	平成28年8月
若年者における睡眠と気分との関連—抑うつ, 不安, 気分プロフィールを用いて—	BIO Clinica	飯田忠行, 國重雅史, 横川奈央, 伊藤康宏, 長岡芳, 原田俊英	平成28年8月
若年者における睡眠と気分との関連 —抑うつ, 不安, 気分プロフィールを用いて—	Bio Clinica.	飯田忠行, 國重雅史, 横川奈央, 伊藤康宏, 長岡芳, 原田俊英	平成28年8月
Effect of high-resolution audio on function of autonomic nervous system.	International Medical Journal	Ito S, Harada T, Ishizaki F, Yamamoto R, Niyada K, Miyazaki H, Nitta Y, Chikamura C, Suehiro K, Nitta K	平成28年8月
紙上討論「『漢字』と『ひらがな』の知覚部位はおなじである」.	BRAIN and NERVE, 68(8) 965-970.	辰巳格, 渡辺眞澄.	平成28年8月
Psychological stressor affects autonomic cardiovascular function and peripheral circulation.	International Medical Journal	Harada T, Aoi S, Ishizaki F, Ikeda H, Inoue M, Tamura N, Nitta Y, Koide R, Sakai A, Mibu M, Imaizumi S, Nitta K	平成28年12月
Influences of High-Resolution Music Box Sounds on the Peripheral Vascular System.	International Medical Journal	Harada T, Moriwaki Y, Ito S, Ishizaki F, Ymamoto R, Niyada K, Miyazaki H, Nitta Y, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Nitta K.	平成28年12月
Relationship between the Characteristics of Lumbago of Parkinson's Disease and Efficacy of Neurotropin in Aged Patient.	International Medical Journal	Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Chikamura C, Nitta K.	平成28年12月
感覚-運動機能研究のための実験システム開発環境の構築と医工連携	日本神経回路学会誌	福田浩士, 國重雅史, 飯田忠行, 宮口英樹, 原田俊英.	平成28年12月

論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
健常者における嚥下時の喉頭運動速度の解析-食塊の粘性度が喉頭運動速度に及ぼす影響-	嚥下医学	中尾雄太, 大西英雄, 土師知行, 城本修 他	平成29年2月
反復唾液嚥下での嚥下時間および間隔の加齢による影響について-耳内嚥下音による解析-	嚥下医学	土師知行, 相沢梨奈	平成29年2月
Changes in Biomarkers of Psychological Stress and Bone Resorption Markers in Young Females With and Without Depressive Symptoms during Different Menstrual Phases	International Medical Journal	Iida T, Inoue K, Ito Y, Ishikawa H, Kagiono M, Chikamura C, Nagaoka K, Harada T, Teradaira R	平成29年2月
A part of patients with autism spectrum disorder has haploidy of HPC-1/syntaxin1A gene that possibly causes behavioral disturbance as in experimentally gene ablated mice	http://dx.doi.org/10.1016/j.neulet.2017.02.052	Takefumi Kofuji, Yuko Hayashi, Tomonori Fujiwara, Masumi Sanada, Masao Tamaru, Kimio Akagawa	平成29年2月
嚥下内視鏡検査が嚥下動態に与える影響について-内視鏡挿入の有無および外径についての検討-	人間と科学	小川真奈, 土師知行, 中村悟, 飯田忠行	平成29年3月

【著書】

タイトル	著者名	担当範囲	出版社	出版年月日
「OTとして私が大切にしていること」 にっこ笑顔	吉岡 和哉	分担執筆 コラム	青海社	平成28年8月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
より良いパーキンソン病の治療にむけて.	原田俊英	パーキンソン病治療講演会	平成28年1月
耳鼻咽喉科と嚥下障害	土師知行	北播磨ENT Meeting	平成28年1月
「脳のシステムー課題とヒント」嚥下障害と認知症	土師知行	第13回脳をみるシンポジウムin 三原	平成28年2月
口腔内補装具および人工的水分・栄養補給法 (AHN)の認識と受容：医療介護職員と一般市民における検討	矢守麻奈, 伊志嶺文	第39回日本嚥下医学会	平成28年2月
反復唾液嚥下での嚥下間隔についてー耳内嚥下音による解析	土師知行	第39回日本嚥下医学会	平成28年2月
加齢またはアルツハイマー病が語彙意味機能におよぼす影響ーFeature listing課題による検証ー	津田哲也	第42回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	平成28年4月
子どもの育ちを応援しよう	山西葉子	三原市放課後児童クラブ職員研修	平成28年5月
加齢またはアルツハイマー病が語彙・意味機能に及ぼす影響ー意味的プライミング法による検討ー	津田哲也	第17回日本言語聴覚学会	平成28年5月
自助具の使用により自転車の操舵およびブレーキ操作が改善した先天性前腕欠損児	田平あかね 神藤祐依 長谷川正哉 田中聡 大塚彰	第51回日本理学療法学会大会 (北海道)	平成28年5月
小児看護実習で活用した倫理問題記録の内容の検討～学生の記載内容から～	土路生明美 鴨下加代 松森直美	日本看護倫理学会第9回年次大会	平成28年5月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
Difficulty in processing sentences including paired verbs in a Japanese agrammatic patient.	Masumi Watanabe, Shotaro Murata, Risa Yamada, Kazuhiko Kakehi, Itaru Tatsumi.	16th International Clinimal Phonetics and Linguistics Association Conference. Halifax, Canada	平成28年6月
失語症者のWord-Finding Supportアプリ使用に関する基礎的研究 ーコミュニケーションブックとの比較検討ー	坊岡峰子, 棧敷真帆, 棟近理瑚 他	第17回日本言語聴覚学会	平成28年6月
失語症者へのLINE導入とその効果	棟近理瑚, 坊岡峰子, 棧敷真帆	第17回日本言語聴覚学会	平成28年6月
パーキンソン病を診る～日常診療のコツ～.	原田俊英	三原市医師会学術講演会 「第2回三原PD診療を考える会」特別講演	平成28年6月
フォトセンサーによる耳管開大検知システムの開発と有用性について	土師知行	第78回耳鼻咽喉科臨床学会	平成28年6月
マウスケアと呼吸機能訓練の効果に関する研究-高齢者の誤嚥性肺炎予防-	藤林大三朗, リラセプタリナ, アデンフェビアブディラー, 森田雅子, 狩谷明美, 矢守麻奈, 神出計	第58回日本老年医学会	平成28年6月
豊かなコミュニケーションのために	佐藤紀代子	人工内耳友の会広島支部会	平成28年6月
自閉症スペクトラム障害児における語彙理解・統語理解能力について：定型発達児との比較	奥田晶史, 玉井ふみ	第42回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	平成28年6月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
小児の気管切開の実際	土師知行	第10回小児在宅医療実技講習会	平成28年6月
幼児期における自閉症スペクトラム障害児の自己能力評価：心の理論の発達との関連	小島理恵子, 玉井ふみ	第42回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	平成28年6月
Syntaxin1A遺伝子の欠失を認めた自閉症スペクトラムの5症例	林優子 小藤剛 史 田丸政男 赤川公朗	第24回岡山小児心身症研究会	平成28年6月
聞こえにくい子どもたちの長期経過から	佐藤紀代子	西日本発達支援センター教育会議	平成28年7月
高校生のためのプレママプレパパ教室	日高陵好	三原シティカレッジ	平成28年7月
小さく産まれた赤ちゃんの発達を知る	島谷康司	三原シティカレッジ	平成28年7月
食物形態と咀嚼・嚥下動態 - まだ刻みますか? -	矢守麻奈, 池上那菜, 浦塚美里, 北村楓子, 古田知彩	第28回日本嚥下障害臨床研究会	平成28年7月
子どもたちへの地域での発達支援 - 発達外来からのメッセージ	林優子	三原シティカレッジ	平成28年7月
本人の自己選択・決定を尊重する作業療法を行った不登校中学生1例	小丸周平 少前美穂 乗越保宏 林優子 野村博昭	平成28年度第4回三原市小児科医会	平成28年7月
療育における保護者支援と薬物療法の考え方	林優子	2016年度西日本発達支援センター職員研修会	平成28年7月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
“身体を動かす「筋肉」について知ろう”	森大志	三原シティカレッジ	平成28年8月
13歳からの言語聴覚士入門～きこえ・のみこみ・ことばの障害とそのリハビリテーションの基本を知ろう～	小澤由嗣, 長谷川純, 佐藤紀代子, 吐師道子, 城本修, 矢守麻奈, 中村文, 堀江真由美, 伊集院睦雄, 大西英雄, 渡辺眞澄, 津田哲也	三原シティカレッジ, 夏休み特別講座	平成28年8月
5歳児発達記録の結果の見方・活かし方について	玉井ふみ, 堀江真由美	三原市 5歳児発達記録勉強会	平成28年8月
Clinical Usefulness of the Swallowing Sounds Recorded through the ear	Tomoyuki Haji	30th World Congress of the International Association of Logopedics and Phoniatrics	平成28年8月
Effectiveness of the "Scick" tablet-based app for communication with people with aphasia	MinekoBooka, Saki Mizunaga, Ai Kato et. al.	International Society for Augmentative and Alternative Communication (ISAAC) 2016	平成28年8月
おもしろぶつり実験	中村悟	三原シティカレッジ	平成28年8月
オンリーワン工作～自由に楽しく作ろう～	高木雅之	三原シティカレッジ	平成28年8月
失語症者のアプリ利用の効果と今後の課題	坊岡峰子, 棧敷真帆, 棟近理瑚, 水永沙希他	第31回リハ工カンファレンスinこうち	平成28年8月
特別支援教育のこれから	山西葉子	三原市立三原小学校教職員研修会	平成28年8月
プレイバックシアター：即興劇で学ぶコミュニケーション	吉川ひろみ	三原シティカレッジ	平成28年8月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
栄養サポートと摂食嚥下リハビリテーション-摂食嚥下機能と食事形態-	矢守麻奈	日本静脈経腸栄養学会認定NST専門療法士研修会（尾道市立市民病院）	平成28年8月
子どもたちへの地域での発達支援 - (学校での支援)	山西葉子	三原シティカレッジ	平成28年8月
子どもの行動理解とその指導	山西葉子	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月
事例報告から学ぶ特別支援教育	玉井ふみ	福山市保幼合同夏季研修会	平成28年8月
発達障害の診断と治療の実際	林優子	平成28年度教員免許状更新講習会	平成28年8月
発達評価の利用の仕方	堀江真由美	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月
学習障害への対応とコミュニケーション・スキルの指導	細川淳嗣	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月
発達障害児の行動理解とその指導	山西葉子	平成28年度教員免許状更新講習会	平成28年8月
中枢神経障害の基礎知識	林優子	平成28年度教員免許状更新講習会	平成28年8月
コミュニケーションへの支援	玉井ふみ	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
姿勢・運動への支援	島谷康司	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月
不適応行動に対する支援	古山千佳子	平成27年度教員免許状更新講習	平成28年8月
病棟でできる摂食嚥下機能の評価	矢守麻奈	本郷中央病院 摂食・嚥下委員会	平成28年8月
Health Behavior among Japanese Young Adult Survivors of Childhood Cancer: A literature review	Akemi Torobu, Kayo Kamoshita	The 2ndAsian Conference on Disaster Response and Management held jointly with the Pacific Rim Symposium for Nursing and Health Professionals	平成28年9月
学校を理解し支援ができる作業療法士「学校作業療法士」	吉岡和哉	第50回日本作業療法学会	平成28年9月
子どもたちへの地域での発達支援	林優子, 古山千佳子, 山西葉子, 西村玲子	三原シティカレッジ	平成28年9月
性別違和を訴えるアスペルガー症候群の男子高校生	林優子	平成28年度第4回三原市小児科医会	平成28年9月
NST活動における言語聴覚士の役割-摂食嚥下リハビリテーションと栄養管理の関連性について-	東山寛隆, 石岡千夏, 中司佳代, 前川香, 土本正治, 矢守麻奈	第14回広島NST研究会	平成28年10月
むくみ対策靴下+レックカバーの有効性について	井上誠, 近藤美也子, 土路生明美, 鴨下加代, 伊藤良子, 木村幸生, 新宅光男	医療の質・安全学会誌	平成28年10月
医療・介護・福祉職員とその学生における人工的水分・栄養補給法 (AHN) の認識と受容	矢守麻奈, 伊志嶺文	第17回広島保健福祉学会・第13回広島保健学学会合同学会	平成28年10月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
病棟でできる摂食嚥下機能の訓練	矢守麻奈	本郷中央病院 摂食・嚥下委員会	平成28年10月
むくみ対策靴下による安全対策について	井上誠, 近藤美也子, 土路生明美, 鴨下加代, 伊藤良子, 木村幸生, 新宅光男	医療の質・安全学会誌	平成28年10月
動詞活用障害の分析のための基礎研究	渡辺眞澄, 玉野あかね, 津田哲也, 辰巳 格	第40回 日本高次脳機能障害学会 学術総会 松本	平成28年11月
“いい感じ”の自分とこころの健康づくり	西村玲子	三原シティカレッジ	平成28年11月
アミューズメントを介した高齢者の交流における自立神経機能・睡眠への影響 ーデイサービスにおける1か月の導入事例からの検討ー.	川畑なみ, 宮口英樹, 國重雅史, 石附智奈美, 伊藤康宏, 原田俊英, 石崎文子, 飯田忠行	第28回日本老年医学会中国地方会	平成28年11月
ヘッドフォンから出力したハイレゾリューション音が自律神経機能へ及ぼす影響について.	伊藤祥史, 原田俊英, 石崎文子, 宮崎洋幸, 二矢田勝行, 山本竜太, 近村千穂, 末廣憲治	第69回日本自律神経学会総会	平成28年11月
園芸福祉入門!	永野なおみ	三原シティカレッジ	平成28年11月
コミュニケーションのあり方, 取り方	坊岡峰子	医療法人宝美会 職員研修	平成28年12月
自分発見!! ~楽しく生きる明日へのヒント~	山西葉子	尾道市立尾道南高等学校 キャリア教育研修会	平成28年12月
就労している男性小児がん経験者の健康行動 母親の面接調査より	土路生明美, 鴨下加代	第14回日本小児がん看護学会学術集会	平成28年12月

タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
子どもの発達を支える遊びとは	山西葉子	発達障害支援センターあづみ園職員研修	平成29年1月
高齢者とのコミュニケーション：コミュニケーションの基本，コミュニケーションが困難になる病気とコミュニケーション技法	矢守麻奈	緩和基準型訪問サービス三原市認定生活支援員研修会	平成29年1月
高齢者の食事：高齢期の栄養と食事，摂食・嚥下障害の理解と対応	矢守麻奈	緩和基準型訪問サービス三原市認定生活支援員研修会	平成29年1月
耳内嚥下音による反復唾液嚥下検査の信頼性と反復唾液嚥下の日差変動について	土師知行	第40回日本嚥下医学会	平成29年2月
摂食嚥下機能の加齢性変化への対応-言語聴覚士の行うリハビリテーション-	矢守麻奈	第4回食品ユニバーサルデザイン研究会	平成29年2月
人工内耳装用児のリハビリテーション	佐藤紀代子	人工内耳教育セミナーin大阪	平成29年3月

【外部資金】

タイトル	代表研究者名	制度名	研究期間
学童期以降小児がん経験者のための外来における健康教育プログラムの開発	土路生明美	科学研究費補助金 (若手研究B)	平成26～29年度
学校における教員と作業療法士の連携・協働モデルの開発—スクールAMPSを用いて	古山千佳子	科学研究費補助金（基盤研究C）	平成26～28年度
幼児期の自閉症スペクトラム児に対する感覚統合療法の効果～非ランダム化比較試験～	立山清美（大阪府立大学） 分担；山西葉子	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成26～28年度
耳内嚙下音および頸部光ファイバーセンサによる非侵襲嚙下解析システムの有用性の検討	土師知行	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成26～28年度
失語症・意味認知症者の文理解・産生の障害メカニズム—意味、文法、音韻処理の役割— 代表	渡辺眞澄	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成26～28年度
加齢および脳障害が語彙意味機能に及ぼす影響に関する基礎研究	津田哲也	科学研究費補助金 (若手研究B)	平成26～28年度
実践現場に即した集団における発達障害の定量的行動評価システムを構築する	島谷康司	科学研究費補助金 (基盤研究B)	平成27～31年度
風船把持歩行の効果の謎に迫る：指先感覚情報の“揺らぎ”解析と風船型姿勢制御モデル	島谷康司	科学研究費補助金 (萌芽研究)	平成28～30年度
セルフメディケーションのための簡易型呼気圧測定器の開発	狩谷明美， 分担： 矢守麻奈	広島県商工労働部ひろしま医療関連産業創出事業（弓場汽船よりの受託研究）	平成28～30年度

V. 従事者名簿

医師

小児科	林 優子
リハビリテーション科	沖 貞明
内科	安武 繁
精神科	藤巻康一郎
耳鼻咽喉科	土師知行
神経内科	原田俊英
整形外科	住居広士
脳神経外科	森 大志

看護師

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	日高陵子
	青井聡美
	池田ひろみ
看護師（専任）	井上セツ子
	大亀昭子
医療事務受付	塩崎恭子
	田坂春美
	村田智子

非常勤専門職員

看護カウンセラー	山本映子
小児理学療法士	清水ミシェルアイズマン
心理士	門田翔太
臨床検査技師	児玉祐子
作業療法士	新庄玉恵

コメディカル

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	日高陵子
	青井聡美
	池田ひろみ
理学療法士	金井秀作
	島谷康司
	長谷川正哉
	梅井凡子
	武本秀徳
	積山和加子
	高宮尚美
作業療法士	金指美帆
	田端幸枝
	西田征治
	吉川ひろみ
	古山千佳子
	小池好久
	高木雅之
	西村玲子
	永吉美香
	山西葉子
	吉岡和哉
	増田久美子
	言語聴覚士
坊岡峰子	
細川淳嗣	
吐師道子	
玉井ふみ	
小澤由嗣	
長谷川純	
城本 修	
矢守麻奈	
佐藤紀代子	
渡辺真澄	
津田哲也	
放射線技師	中村 文
	中村 悟
社会福祉士	飯田 忠行
	永野なおみ